

組合まつり in TOKYO

— 中小企業の魅力発信！ —

全国中小企業組合の祭典

平成31年1月30日(水)・31日(木)、東京国際フォーラム(東京都千代田区)にて、「組合まつり in TOKYO」(東京都中小企業団体中央会主催)が開催されました。

本展示会は、中小企業世界発信プロジェクト2020の一環として、東京都をはじめ全国から「中小企業組合」が集結し、全国一体となって組合の知名度アップや組合製品の展示・販売を通じた販路の拡大及び、地域の魅力発信・新たなビジネスチャンス創出の場を提供することを目的としたイベントです。

開催当日は、小池百合子東京都知事をはじめとした来賓を迎えたオープニングセレモニーが盛大に開催され、全国中小企業団体中央会の副会長として、本会 森会長もテープカットに参加しました。



「組合まつり」会場入り口



オープニングセレモニーの様子

今年度は好評につき規模を拡大・およそ120組合が出展

昨年度、88組合の出展数で開催された本展示会ですが、2回目の開催となる今年度は好評に伴い規模を拡大しました。主催の東京都を中心に全国各地から117組合が集まり、モビリティ・ものづくり・暮らし・アミューズメント・伝統工芸品・食品・全国物産・伊豆/小笠原諸島・経済の全9つのカテゴリーに分かれてそれぞれ出展を行いました。また、会場では本年度からの試みとして会場にPRステージが設けられ、開催日の両日ともに1日をかけて全国14の団体が工夫を凝らし自団体のPRを行い、来場者へ周知を行う様子が見られました。出展者の中には、ブース内で地域製品の販売や、試飲、試食を行う組合もあり、来場者、出展者ともに多くの人々が足を運び、全国の職人の技や伝統、地域産品に触れ、活発に交流を図りました。



会場内の様子

神奈川県からの出展組合紹介

今回の組合まつりには、県内より2組合が出展を行いました。

・神奈川県家具工業組合(かなもく塾)

当組合は、日本における洋家具発祥の地とされている横濱の、木工家具にそのルーツを持つ企業から構成されている組合です。現在、組合員・従業員の技術向上と若手経営者の育成に力を注いでおり、特に組合員の若手経営者勉強会・親睦会である「かなもく塾」に注目が集まっています。

かなもく塾では、毎月会議を行い、会員企業の工場見学を数多く行う等、将来のビジネスへとつながる要素を日々追及しているほか、組合のベテランと次代を担う若手の交流の場としても機能しており、現在では「横濱空學堂」という横濱の伝統を受け継ぐ、組合のオリジナルブランドで横濱三塔(キングの塔・クイーンの塔・ジャックの塔)をイメージした家具を製作し好評を博しています。

昨年に続き2回目となる今回の出展では、横濱の家具を周知するために、キングの塔をモデルにした「横濱空學堂」シリーズの1つである「ロールトップデスク」を展示しました。当デスクは、厳選したホワイトオークの無垢板がふんだんに用いられた、落ち着いた雰囲気を感じさせる格調高い家具となっており、その特徴であるロールトップ(巻き込み戸)は組合員の職人の高い技術によって美しく仕上げられていて、女性にも人気を博している組合自信の一作です。本展示会では、全国中小企業団体中央会 大村功作会長や、本会 森洋会長らがこの出展ブースを訪れ、強い関心を示していたほか、特に女性の一般来場者や、専門店のバイヤーからも大きく注目を集めていました。

当組合 かなもく塾代表の細貝氏は、「いい職人がいてこそ、いい家具が出来上がります。横濱空學堂の家具は100年家具と銘打ち、職人の確かな技術と厳選した素材により作り上げられた、本物のこだわりで満ちた家具であり、今後お客様に『いいものを作ってもらった』と言ってもらえる、人に喜んでもらえるものを作りたいです。」と話していました。当組合では、現在も統一した空間づくりのできる、「横濱空學堂」ブランドの新作の開発と受注家具の製作を続けているとのこと、今後の動向から目が離せません。

【お問合せ 神奈川県家具工業組合 TEL: 045-242-5981】

・協同組合 ギルダ横濱

当組合は、開港以来シルクの集積地であった横濱のもとで発展していったプリント・染色・製版・縫製等、捺染の様々な工程に携わる職人が集まった、あらゆるニーズに対応する企業の「匠」集団で、伝統・新たな技術の収集と開発に努めています。

当組合では、横濱の風物詩である横濱三塔をモチーフにして、伝統の染色を施した『横濱三塔手ぬぐい』をはじめとする技術と伝統とデザインが三位一体となった「横濱三塔シリーズ」をオリジナル商品として販売しており、日本のみならず世界に横濱の捺染技術を発信し、伝統の火を絶やさないために日々試行錯誤を重ねています。

今回、組合まつりに初出展となる当組合は、手ぬぐいとハンカチを掛け合わせた「手ぬんかち」、横濱開港160周年に合わせて作成された「横濱三塔シリーズ」新作、新たなチャレンジである藍染等、組合の精神を象徴する製品の展示を行いました。

当組合 内藤氏は、「新製品のコンセプトはすでにくらかなり、私たちの商品に間違いはないと思っている。このような展示会を通じて、内側からではわからない外から見た捺染やその技術の面白さ、活用法の知見を得たり、自分たちの苦手な販売面を補ってくれるような事業者と出会えたりできれば最良です。」と語っていました。また、当組合では、これからは横濱捺染の高い技術力をアピールするほか、シンプルでさりげない、横濱三塔シリーズの新作や、ストーリーを伝えて受注につなげる「コト売り」、歴史ある産業として新たな発展を目指しオリジナルデザイン商品の開発などに取り組んでいくビジョンを描いています。組合の商品や、活動にご興味のある方は組合までぜひご連絡ください。

ギルダ横濱 内藤氏(右)の説明を受ける本会 森会長(左)

【お問合せ 協同組合ギルダ横濱 TEL: 045-620-0910】



家具工業組合 小安氏(左)の説明を受ける本会 森会長(右)